

まつもと市議会だよい



松本市馬術競技場の大福丸（松本馬術協会）

contents

② 特集 若者との交流事業を実施しました！

④ 12月定例会

概要…4

委員会審査の結果から…5

審議結果など…6

一般質問…8

⑯ キラリ★輝く市民にインタビュー！ 編集後記 ほか

若者との交流事業

若者 × 松本市議会

議員が聞く！

若者のライフスタイル～若い世代が考える結婚観とは？～

〈青少年ホーム利用者の皆さんとの意見交換会を実施 R7.11.20〉

今年度、市議会厚生委員会では、少子化、未婚化、晩婚化といった課題がある中で、4月から新たに設置された若者参画課が所管する「結婚支援事業」に注目し、先進自治体などへの視察や勉強会を実施するなど、調査・研究を行っています。

そのような中で、委員から、実際の若者の声も聴きたいという意見があり、若者との交流事業の一環として、結婚観も含めた若者世代のライフスタイルに対する考え方を聞くため、意見交換を実施しました。

当日は、青少年ホームやM ウイング 1階にある若者参画課事務所オープンデー（※）の利用者など、20代から30代までの若者10名が参加し、議員とさまざまな意見が交わされました。

※若者参画課事務所オープンデー…若者と若者、若者と大人が、自由につながる場の提供を目的として、毎週火曜日の午後4時から午後8時まで、M ウイング 1階の若者参画課事務所をフリースペースとして開放しています。



恋愛・結婚には
「お金と時間の余裕」が必要。

残業が多く、忙しすぎてプライベートに余裕がない。人間関係づくりに時間を投資できない。

行政が行う支援は安心感があるが、「補助金があるから結婚・出産する」わけではない。



子どもについてはあまり考えていない。夫婦2人でもいい。子育ては大変そうで、自分にできる自信がない。

子育てはしてみたいが、自分が親になることが想像できない。

核家族化の中で、地域・社会全体で子育てを支える体制が必要。

意見交換を通して、若者が結婚や子育てに対して抱くイメージと、私たち議員が抱くイメージにはかなりのギャップがあることを感じました。若者が描く多様なライフスタイルの中で「結婚」は選択肢の1つであり、当然に目指すべきものではなくなっています。

仕事だけでなく、結婚や家庭、子育て等を含めた総合的なライフデザインについて、若者自らが考える機会を提供していくことが重要だと感じました。

今回お聞きした意見を参考にしながら、市への提言に向けて
引き続き、調査・研究を進めていきます。
ご参加いただいた皆さん、ありがとうございました！

地域課題など高校生と意見交換

市議会を身近に感じてもらうための取組みとして、高校の授業に議員が参加し、議会活動等に関する情報発信や意見交換を行っています。

今年度は梓川高等学校と松本工業高等学校の皆さんと交流事業を行いました。

梓川高等学校

実施日：R7.10.24

参加者：2年生

〈意見交換会テーマ〉

- ・市議会議員の仕事について
- ・地域の課題について
- ・市議会ホームページについて



〈生徒感想〉

- ・市議会について知る良い機会になった。直接要望を伝えられてよかったです。
- ・他人事のように感じていたが、議員と対面で話すことで、自分も松本をより良くできるように何ができるか考えてみたいと思った。

〈議員感想〉

道路整備に関する課題や要望については、市公式LINEからの通報を案内するとともに、これを機に学年でまとめて道路整備要望マップを作成して、行政などに相談してみてはどうかなど、次のアクションと一緒に考えることができた。

松本工業高等学校

実施日：R7.12.23～25

参加者：1年生

〈意見交換会テーマ〉

- ・市議会議員の仕事について
- ・地域の課題について



〈生徒意見・感想〉

- ・自転車利用のルールが大きく変わる中、通学途中に自転車専用道路がない箇所があり危険を感じる。
- ・市議会の活動などをSNSで発信してはどうか。
- ・交流を通じて、政治に少し興味が沸いてきた。

〈議員感想〉

- ・事前学習がよくされていた。市政課題について問題意識を持っていて関心した。
- ・道路事情等に問題を感じている意見、要望が多く、大きな課題であると感じた。身近な問題から当事者意識を持ってもらえたらしい。

「楽しい時間だった」「もっと時間がほしかった」など、嬉しい感想をいただくことができました。
梓川高等学校、松本工業高等学校の皆さん、ありがとうございました！

「子ども誰でも通園制度」の運営に関する基準を定める条例などを可決

今定例会では、市長から提出された議案 48 件のほか、人事 1 件、請願 2 件、議会案 4 件を審議し、それぞれ議決しました。

▶委員会審査の結果は P5、審議結果の一覧は P6、7、一般質問は P8～15 をご覧ください。

令和 7 年 12 月
定例会
12 月 1 日～12 月 18 日
(会期 18 日間)

こんなことが決まりました！

スマート農業に関する専門的調査を実施します！

議第 12 号 地方自治法第 100 条の 2 の規定による専門的事項に係る調査について

内 容

松本市のスマート農業推進施策について、公共政策や地方自治をご専門とされ、スマート農業普及の制度的要因について研究されている関西学院大学法学部 教授 小川 大和 氏に、専門的な実証分析調査を実施していただくものです。



経 過

令和 3 年 2 月定例会において、松本市議会では初の議会提案の政策条例となる「松本市農林業振興条例の一部を改正する条例」を全会一致で可決しました。

これは、松本市を含む我が国の農林業が、就業人口の減少・高齢化などの課題を抱え、生産性の向上が急務であったため、情報通信技術やロボット技術、人工知能などの先端技術を活用するスマート農林業を推進する旨の規定を松本市農林業振興条例に追加し、松本市の農林業のさらなる発展を図ったものです。

改正条例の附則には、施行から 5 年後に、議会として改正条例の施行状況を検証し、必要な措置を講ずる旨が規定されていますので、令和 8 年度にその検証を行う予定です。

専門的事項に係る調査の制度

地方自治法第 100 条の 2 に規定されている制度で、議案審査等の議会活動に専門的知見を活用するため、議会が学識経験者に専門的な調査をさせることができるというものです。

この間、特に国の立法活動が活発であり、松本市でもスマート農業推進事業補助金などの具体的な施策推進が図られた「スマート農業」について、専門的事項に係る調査の制度を活用することにより、令和 8 年度に予定している改正条例の検証を実効あるものにします！

人 事

下記の人事案件について、同意しました。

■教育委員会委員／ 新井 喜代加 氏



議会案

実現に向けて国会や関係行政に送付しました。

議第 9 号

さらなる少人数学級推進と 教育予算の増額を求める意見書

どの子にも行きとどいた教育するために、さらなる少人数学級推進と教育予算の増額を行うことなどを求めるもの

議第 10 号

義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書

子どもたちの教育の機会均等とその水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度を堅持し、負担率を拡充することを求めるもの

議第 11 号

診療報酬、介護報酬及び障害福祉サービス等報酬の 引上げを求める意見書

国が進める 2025 年総合経済対策としての医療・介護・福祉分野における支援を速やかに実施するとともに、医療・介護・福祉従事者の職場環境の改善と、他産業との賃金格差を是正する賃上げを実施するため、2026 年度診療報酬、介護報酬および障害福祉サービス等報酬を引き上げることを求めるもの

→議会案にはそのほか、ページ上段で掲載した「議第 12 号」があります。議会案の詳細については、市議会ホームページでご覧いただけます。



委員会審査の結果から

可決

議案第37号

総務委員会

公の施設の指定管理者の指定について (野麦峠スキー場)

令和8年8月末をもって指定期間が満了となる野麦峠スキー場について、現在の指定管理者である株式会社社岳都リゾート開発を、引き続き令和9年8月末までの1年間、指定管理者として指定するものです。

こんな質問が出ました

Q スキー場の今後の方向性が定まるまで指定期間を1年間としているが、市の方針が決定するまでの見通しは。

A 現在、他のスキー場の情報を収集するなど、判断するための材料を積み上げているところである。

また、昨シーズンから地元の皆さんが「スキー場盛りあげ隊」を結成し、利用促進にも取り組んでいることから、今シーズンの状況も見ながら、地元との協議を経たうえで、できるだけ早く市の方針を決定したいと考えている。



野麦峠スキー場

審議結果

詳細は市議会ホームページでご覧いただけます。



総：総務委員会 厚：厚生委員会 経：経済文教委員会 建：建設環境委員会

■：賛否の分かれた議案など

条例

議案番号	件名	委員会審査		議決結果
		付託委員会	審査結果	
1	松本市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例	厚	可決	可決
2	松本市印鑑登録及び証明に関する条例等の一部を改正する条例	経		
3	松本市税条例の一部を改正する条例	総		
4	松本市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	厚		
5	松本市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	厚		
6	松本市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	厚		
7	松本市特定児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	厚		
8	松本市幼保連携認定こども園の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	厚		
9	松本市幼保連携認定こども園以外の認定こども園の認定の要件を定める条例の一部を改正する条例	厚		
10	松本市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	厚		
11	松本市体育施設の設置管理等に関する条例の一部を改正する条例	経		
12	松本市自転車駐車場条例の一部を改正する条例	建		
13	松本市特別職の職員の給与及び費用弁償に関する条例及び松本市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例	総		
14	松本市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	総		

予算

議案番号	件名	委員会審査		議決結果
		付託委員会	審査結果	
15	令和7年度松本市一般会計補正予算（第5号）	4常任	可決	可決
16	令和7年度松本市一般会計補正予算（第6号）	4常任		
17	令和7年度松本市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	厚		
18	令和7年度松本市介護保険特別会計補正予算（第1号）	厚		
19	令和7年度松本市奈川観光施設事業特別会計補正予算（第2号）	総		
20	令和7年度松本市松本城特別会計補正予算（第2号）	経		
21	令和7年度松本市水道事業会計補正予算（第3号）	建		
22	令和7年度松本市下水道事業会計補正予算（第2号）	建		
23	令和7年度松本市病院事業会計補正予算（第1号）	厚生・市立病院建設		

契約

議案番号	件名	委員会審査		議決結果
		付託委員会	審査結果	
24	工事請負契約の締結について（松本市四賀有機センター解体工事）	総	可決	可決
25	工事請負契約の締結について（令和7年度松本市浅間温泉庭球公園改修工事）	総		
26	工事請負契約の締結について（令和7年度村井駅東口交通広場整備等工事）	総		

財産

議案番号	件名	委員会審査		議決結果
		付託委員会	審査結果	
27	市有財産の取得について（野麦峠スキー場降雪機）	総	可決	可決
28	市有財産の取得について（波田中央運動広場移設整備事業用地）	経		
29	市有財産の取得について（浅間温泉庭球公園駐車場拡張整備事業用地）	経		
30	市有財産の譲渡について（第19分団ポンプ置場倉庫（北小松））	総		
31	市有財産の譲渡について（番所屋内多目的広場）	建		

道路

議案番号	件名	委員会審査		議決結果
		付託委員会	審査結果	
32	市道の認定について	建	可決	可決
33	市道の廃止について	建		

その他

議案番号	件名	委員会審査		議決結果
		付託委員会	審査結果	
34	安曇野市・松本市山林組合の解散等に関する協議について	建	可決	可決
35	公の施設の指定管理者の指定について（いがやレクリエーションランド）	総		
36	公の施設の指定管理者の指定について（乗鞍観光センター）	総		
37	公の施設の指定管理者の指定について（野麦峠スキー場）	総		
38	公の施設の指定管理者の指定について（総合社会福祉センター）	厚		
39	公の施設の指定管理者の指定について（南部老人福祉センター）	厚		
40	公の施設の指定管理者の指定について（心身障害児通園施設「しいのみ学園」）	厚		
41	公の施設の指定管理者の指定について（美鈴湖もりの国）	建		
42	公の施設の指定管理者の指定について（四賀環境学習の森）	建		
43	公の施設の指定管理者の指定について（坊主山クライミングガルテン 外1施設）	経		
44	公の施設の指定管理者の指定について（大原クラインガルテン 外2施設）	経		
45	公の施設の指定管理者の指定について（波田農産物加工販売施設）	経		
46	公の施設の指定管理者の指定について（波田特産品直売所）	経		
47	公の施設の指定管理者の指定について（市立博物館）	経		
48	公の施設の指定管理者の指定について（市民プール 外2施設）	経		

人事

議案番号	件名	委員会審査		議決結果
		付託委員会	審査結果	
49	教育委員会委員の任命について	—	—	同意

請願

議案番号	件名	委員会審査		議決結果
		付託委員会	審査結果	
請3	「さらなる少人数学級推進と教育予算の増額を求める意見書」採択を求める請願書	経	採択	採択
請4	「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める請願書	経	採択	採択

議会案

議案番号	件名	委員会審査		議決結果
		付託委員会	審査結果	
議9	さらなる少人数学級推進と教育予算の増額を求める意見書		—	—
議10	義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書		—	—
議11	診療報酬、介護報酬及び障害福祉サービス等報酬の引上げを求める意見書		—	—
議12	地方自治法第100条の2の規定による専門的事項に係る調査について		—	—

賛否の分かった議案など

○：賛成 ×：反対 議：議長（※議長は表決には加わりません。）

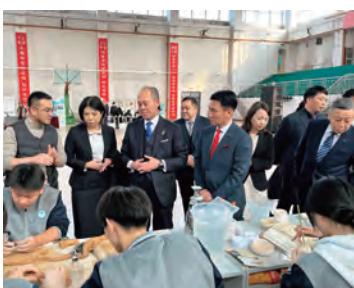
会派名 議員名 議案番号	誠の会					政友会					開明					松本市議会 公明党			まつもと都			日本共産党 松本市議団								
	中山 英子	宇留 賀 響	土屋 眞一	今井 ゆうすけ	犬飼 信雄	阿部 功祐	太田 更三	こば 陽子	太田 正徳	和久井 悟	西澤 郁弥	牛丸 仁志	村上 幸雄	中島 昌子	菊地 徹	吉村 幸代	川久保 文良	上條 温	芝山 稔	大久保 美由紀	内田 麻美	上條 美智子	近藤 晴彦	花村 恵子	神津 ゆかり	上條 一正	横内 裕治	宗田 まゆ美	塩原 孝子	犬飼 明美
13、15	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
23	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

活動レポート

11月から12月までの議会活動からピックアップしてお伝えします

海外友好都市
廊坊市を訪問

友好都市提携30周年を記念し、市公式親善訪問団が中国・廊坊市を訪問。松本市議会からは阿部議長が出席しました。



▶

第二中学校での芸術授業の視察▶

廊坊市滞在

R7.11.11(火)～15(土)

松本市公設地方卸売市場内事業者との
議会報告会及び意見交換会

R7.11.17(月)

今年度経済文教委員会で取り組んでいる「松本市公設地方卸売市場について」の調査・研究に当たり、現場の実情や課題を把握するため、市場内事業者の皆さんと意見交換会等を行いました。



後期議員研修会

R7.11.27(木)

市議会からの提案により松本市農林業振興条例に追加した「スマート農林業の推進」の施行状況を検討していくため、県の担当者を講師にお迎えし、国・県の施策状況についてお話を伺いました。



中信四市議会議員研修会

R7.12.24(水)

今年度は松本市が開催市として、3市議会（大町市・塩尻市・安曇野市）の議員をお迎えし、研修会を行いました。

演題

「発達障害をめぐる諸課題と
自治体の役割」

講師

信州大学医学部
子どものこころの発達医学教室
教授 本田 秀夫 氏





本会議では、議員が市民の代表として市の政策などに対する質問を行っています。
12月定例会では、23人の議員が一般質問を行い、3日間にわたり活発な議論を展開しました。
ここでは、一議員につき一項目の質問と答弁の要旨を掲載しています。

各議員の一般質問の録画映像を松本市議会ホームページで見ることができます。
二次元コードからアクセスしてください。



A 小中学校の理科実験に用いるストローや割りばしなどの消耗品が、教員の自己負担で賄われている現状がある。教員の善意に支えられている教育には限界があり、持続可能性があるとは言えないが、市の見解は。

Q 教員による理科教材購入費の自己負担

A 教育監 消耗品費は理科実験だけではなく、すべての教育活動に使用するものとして各校に配当され、各校の裁量により、柔軟かつ効率的に執行できるようになっている。したがって、授業実施時期に間に合うように発注・購入するなど、計画的な調達を行うことにより、理科実験用の消耗品を教員が自己負担で賄うことなく、公費で調達することが十分に可能であると認識している。

A こども若者部長 サブスクの導入により、保護者の負担が軽減されるとともに、現場の保育士のオムツ交換にかかる負担が軽減されるものと考える。週日、保育園の園長会議で紙おむつのサブスクの仕組みを学ぶ学習会を開催し、導入に対する理解が得られた。今後は各園で実際におむつ交換を行う保育士の理解を得るため、事業者の協力のもと、2ヶ月程度の実証実験を行い、サブスクの利用を希望する保護者に対し、来年度中に導入する。

Q 保育園における紙おむつのサブスク導入



- 理科教育環境の整備について
- ユースセンター設置について



- 手ぶら登園について
- 子育て支援事業について





上條 美智子
松本市議会公明党
かみじょうみちこ



質問項目

- 子育て支援について
- 地域づくりセンターについて

産後ドゥーラと連携した産後支援^{※2}

Q 産後支援を必要とする家庭に入つて直接支援を行つ産後ドゥーラとの連携により質の高い支援^{※3}ができる。連携の入り口として、こども安心訪問支援事業を考えているが、産後ドゥーラとの連携について市の見解は。

A

上條 美智子

「じども若者部長」 出産間もない母の体力面やメンタルケアなど、幅広くサポートするため、令和5年度から産後ママ家事支援サービス事業を導入するなど子育て支援事業の拡充を図ってきた。現在それぞれの支援事業を個別具体的に行つているが、利用者にとって更に利用しやすく、切れ目のない支援が受けられるよう、各事業を一つのパッケージとして再構築していくことを考えている。そのプロセスの中で、産後ドゥーラをはじめとする民間事業者との連携を検討していく。



近藤 晴彦
松本市議会公明党
こんどう はるひこ



質問項目

- こども福祉について
- 住宅行政について
- 物価高への対応について

聴覚障がい児への支援拡充を

Q 市の判断により、軽度・中等度聴覚障がい児への補聴器購入助成を実施できると聞いている。個人負担を現在の3割程度から、重度・高度聴覚障がい児と同様に1割とし、当事者に寄り添う暖かい姿勢を求めるが、市長の見解は。

A

市長

すべての子どもが、障がいの有無にかかわらず、個性や能力を十分に發揮できる環境を整えることは、重要な責務であると考える。聴覚障がいを持つ子どもにとって、補聴器の早期着用がその一步であり、音声言語を身につける最良の時期とされる生後6ヶ月から3歳までに補聴器を着用するかどうかが、子どもの人生を大きく左右すると言われている。軽度・中等度聴覚障がい児の補聴器購入の個人負担について、来年4月から重度・高度聴覚障がい児と同様に1割に軽減するための準備を進めていく。



菊地 徹
開明 さくめい



質問項目

- 人生100年時代のケアと自治

市民にひらかれた市役所庁舎

Q 市役所庁舎が、住民自治のネットワークの中核としての役割を果たし、松本市役所新庁舎建設基本構想で定めた建設理念「ひと、や「まち、を結ぶ庁舎」として真に市民にひらくことを望むが、市長の見解は。

A

市長

新庁舎は、市内の名地域づくりセンターなどと、ネットワークでつながり、専門職員による質の高い行政サービスを提供する拠点の役割を果たすほか、本庁舎の1階には市民や事業者の皆さんができる機能を配置し、拠点の役割を充実させる。その上で重要なのは、職員一人ひとりの意識と行動であると考える。職員が、行政と住民、住民同士の橋渡し役を果たすことで、「ひと、や「まち、を結ぶ市役所」が実現し、地域で暮らす人たちを地域で支えることにつながるものと捉えている。

※2 産後ドゥーラ 産前・産後の母親の心身のケア、育児、家事全般をサポートする専門家

※3 こども安心訪問支援事業（子育て世帯訪問支援事業） 家事・育児等に関する支援が特に必要と認められる家庭に対して、育児に関する指導、助言等の支援を行い、家庭や養育環境を整え、虐待リスク等の高まりを未然に防ぐことを目的としたもの

用語
解説



開明
吉村
幸代



- 質問項目
- 世界遺産登録を目指す国宝松本城
 - クマ対策
 - 学都松本の図書館

社会教育施設としての図書館・公民館の役割

- 質問項目
- 世界遺産登録を目指す国宝松本城
 - クマ対策
 - 学都松本の図書館

- A 教育次長** 図書館については、市民の8割^{※4}が利用していない現状がある。新たなニーズ等を踏まえ、交流拠点、学びを支える情報拠点としての役割を担う必要がある。松本市図書館未 来プランに沿い、基本理念「出会いつながる ガク都の広場」の具現化に取り組む。公民館については、事業や役割を再確認する必要がある。子ども・若者の居場所、中学生等が地域イベントに参加し、世代間を超えた交流を深める場、地域と学校との連携強化を図る場としての役割を担えるよう、「地域と子ども・若者のつながりづくり」を意識した運営を進める。
- Q** 令和9年度中に行う松本市図書館未 来プランの見直しを踏まえ、社会教育施設である図書館および公民館の現状と果たす役割をどのように捉え、今後どのように運営していくのか伺う。



開明
上條
温



- 質問項目
- 信州まつもと空港について
 - 街路樹について
 - 文化行政について

信州まつもと空港地元要望に関する市長発言事項の進捗状況は

- 質問項目
- 信州まつもと空港について
 - 街路樹について
 - 文化行政について

- A 市長** デリシア神林店の移転については、現在、市街化調整区域の地区計画活用方針の見直し等を行っており、数年後の建設に向けて調整を進めしていく。地元対策としての地域振興策のような特別枠の予算措置については、現在の空港対策委員会活動費交付金の位置付けや規模を踏まえ、地区の皆さんとの相談・協議を通じて、今後の方向性を検討していく。地元との定期的な意見交換については、現在、離着陸回数の拡大に向けた事前協議に優先的に取り組んでいたため、今後、協議が完了次第、地元との調整を行つ。
- Q** 令和7年2月に神林地区で開催された「ジモトで座談会」において、空港に関して市長が発言した、デリシア神林店の移転、地元対策予算、地元との意見交換の場について、その後の進捗状況は。



開明
川久保
文良



- 質問項目
- 四賀有機センター事業等について

四賀有機センターの歳入歳出の状況と施設廃止の費用

- 質問項目
- 四賀有機センター事業等について

- A 産業振興部長** 平成17年度から令和6年度までの歳入は、蓄糞処理、堆肥販売等に関する収入で、合計約2億9235万円、歳出は堆肥製造に関する費用などで、合計約8億6226万円であった。そのうち、平成27年度から令和6年度までの歳入は、合計約1億3098万円、歳出は合計約6億702万円であった。施設解体は今年度から来年度にかけて行い、施設内の廃棄物処理に関する費用を含めて、約3億420万円掛かる見込みである。
- Q** 四賀村が合併した平成17年度以降の歳入歳出の合計は。そのうち、議会から四賀有機センターの廃止を提言した平成27年3月以降の歳入歳出の合計は。また、来年度予定している施設廃止に伴う解体費用はいくらか。

質問項目

- フマ対応について
- 米政策等について



村上 幸雄
むらかみ ゆきお
政友会



重点支援地方交付金を活用した経済対策

Q 物価高騰対策として、お米券の配布も一案だが、物価高騰は米に限ったことではなく、さまざまなものが値上がりし、市民生活を圧迫している。物価高騰対応についての認識、また、重点支援地方交付金を活用した対策の実施について、市長の見解を伺う。

A 市長 重点支援地方交付金の中に設けられた特別加算は、食料品に限定せず、生活支援の取組みに幅広く活用できるとされている。物価の高騰は、お米に限ったものではないことから、支援額の日減りや事務作業の手間がかかるお米券の配布よりも、既に構築している府内のプラットフォームを活用した、食料品や生活用品の購入に利用できる電子クーポンの配布などを念頭に、市民が使いやすく、恩恵を実感できる支援策を速やかに実施できぬよう検討していく。

質問項目

- 本市道路行政について
- ワクチン接種について
- 高齢者支援について



和久井 悟
わくい さとる
政友会



高齢者へのデジタル活用支援

Q 「人が減る時代に対応する仕組みづくり」として、デジタルを活用した生活支援モデルを構築しておくことは極めて重要で、特に独居高齢者に対し、情報伝達・見守り・相談等をデジタルで補完することが有効であると考える。タブレットの貸与なども含め、高齢者へのデジタル活用支援について、本市の認識を伺う。

A DX推進本部長 現在、町会等における情報共有アプリの導入等を支援する方向で検討を進めてている。こうしたアプリの多くは、電子回覧板や災害時の安否確認等の機能を備えており、高齢者にとってデジタルを活用するきっかけになりやすいと考える。一方、スマートなどを所持しているない方への対応等が課題となるため、スマートやタブレットの貸与等の対応策を検討し、先進自治体の事例や最新の技術動向等を注視しながら、デジタル活用支援に取り組んでいく。

質問項目

- 身寄りのない高齢者等の終活支援について
- 住民主体による地域資源の循環と持続可能な中山間地域づくりについて



中島 昌子
なかじま まさこ
政友会



本人の意思を尊重した終活支援

Q 少子高齢化で、身寄りのない方は今後ますます増える。一定の金額を行政が預かり、万が一のときに本人の意思に沿った支援ができるよう業者に委託する仕組みがあれば、身寄りのない高齢者の安心につながる。本人の意思を尊重し、残された人の負担を減らすような終活支援の仕組みづくりに取り組む考えはあるか。

A 健康福祉部長 市では、令和7年6月から終活情報登録事業を開始するなど、市として取り組めることには着手しているが、国でも、身寄りのない高齢者を総合的に支援する事業の準備を進めている。今後、この事業が法制化され、国の補助事業となるれば、本市でも実施することになる。国の動向を注視しながら、本人に寄り添った意思決定を支援できるよう、事業の開始に向けて取り組んでいく。

※5 終活情報登録事業 万が一の事態に備え、自分の希望や家族に伝えたいこと等の「終活関連情報」を市に登録することで、万が一の際、指定した方に登録情報を開示し、自分の意思の実現に役立てるとともに、遺された遺族や関係者への負担を軽減することができるもの

用語
解説



政友会
西澤 郁弥



質問項目

- 部活動の地域移行について

中学校部活動地域移行

Q

部活動地域移行に伴い、市では地域クラブ活動参加者支援補助金等を設けているが、現在、塾や習い事に通っている子どもたちへの経済的支援は行っているか。

A 教育監 現在、塾や習い事に通う子どもへの直接的な経済的支援は行っていない。まずは、部活動の円滑な地域移行と定着を最優先に進めるため、地域クラブ等の運営団体に対し、地域クラブ創設支援補助金や地域クラブ活動参加者支援補助金を活用し、クラブ会費の低廉化を図るとともに、経済的理由により活動費の支払いが困難な生徒への支援を進める。引き続き、すべての子どもが安心して活動に参加できる環境づくりに取り組んでいく。



まつもと都
横内 裕治



質問項目

- 魅力ある暮らしやすい松本をつくるために
- 市の職場環境について

市が目指す多文化共生

Q

現在、第4次松本市多文化共生推進プランの策定中だが、外国人住民の定着促進、外国人住民とのコミュニケーション、日本文化やルールへの理解促進について、地域づくりの視点からどのように取り組むのか。

A 住民自治局長 外国人住民を増やすためには、安心して生活できる環境づくりと、日本人住民、外国人住民双方の多文化共生意識の醸成が重要になる。すでに実施している外国人住民向け相談窓口の設置や生活情報の多言語案内に加え、学校や家庭まで出向く支援や、地域づくりセンターと連携した研修、交流イベント等の充実に取り組む。外国人住民とのコミュニケーションについては、「やさしい日本語」の普及が大切である。互いの違いや価値観を認め合い、本市に暮らす責任を分かち合いながら、ともに進んでいけるような方向性を目指していく。



まつもと都
神津 ゆかり



質問項目

- 一歩先ゆく動物愛護行政のために
- 子どもたちのウェルビーイングのために

小中学校でのいじめの現状と対応

Q

本市における学校でのいじめについて、過去3年間の認知件数、発見方法は。児童生徒へのいじめに関するアンケート調査は、一人一台端末の活用など、プライバシーに配慮して実施しているか。また、その結果をどのように分析活用しているか。

A 教育監 いじめ認知件数は、令和4年度782件、令和5年度628件、令和6年度636件で、児童生徒本人からの訴え、教職員への相談、保護者からの連絡などが発見のきっかけとなっている。アンケート調査は、児童生徒が回答しやすいよう、プライバシーにも十分配慮して実施しているが、一人一台端末を活用した実施も検討する。調査結果は、教育委員会で分析を行い、校長会等で共有していじめ防止に活用するとともに、重大化が懸念される事案については、学校と連携して対応を行っている。

※6 地域クラブ活動参加者支援補助金 市内中学生が「地域クラブ（まつチャレ）」の活動に参加するに当たり、就学援助を受けている世帯の経済的負担軽減のため交付する補助金

※7 やさしい日本語 難しい言葉を言い換えるなど相手に配慮したわかりやすい日本語

質問項目



まつもと
上條 一正
かみじょう かずまさ



- 中心市街地再設計（えきしろ空間活性化）

都市計画道路と市役所本庁舎側敷地の一体的な整備

Q

三の丸エリアの重要なパブリックスペースである本庁舎側の敷地の利活用を、新庁舎建設と分けて検討するのではなく、中心市街地活性本部が中心となり、都市計画を見直し、市道1095線も含めた道路空間の一体的な整備を行うことで、新庁舎建設基本計画に掲げる「松本城と共に時を刻む庁舎」となると考えるが、見解を伺う。

A

市長 市役所本庁舎側の敷地の整備と利活用にあたり、道路空間を含めて一体的に検討する必要があると考えているが、本庁舎側の敷地と新庁舎に挟まれた市道1095線ではなく、本庁舎側の敷地と松本城公園に挟まれた本来の登城路である市道1064号線を対象とし、一体的な空間として検討する。来年度から具体的な取組みを進めるための枠組みづくりに着手する。

質問項目



まつもと
花村 恵子
はなむら けいこ



- 市政の進め方と市民の幸せについて

市政運営の進め方

Q

市役所新庁舎や市立病院建設のような重要案件について、議会で賛否が拮抗する中、採決結果をもって進めているが、特に重要な案件は、「全会一致」を目指すべきではないか。このような市政運営の進め方について、市長の見解を伺う。

A

市長 新庁舎建設基本計画改定に当たっては、5年以上にわたり議会と協議を重ねてきた。その上で、どの窓口でも質の高い行政サービスを提供する「市民に身近な市役所づくり」の考え方や、本庁舎の規模をスリム化し、今の東庁舎側敷地に建設するとした計画見直しの骨格については、協議を重ねて方向性を見出し、了承をいただいた。賛否が拮抗する中、採決結果をもって進めていると、いう指摘については、行政と議会が率直な議論を行い、進むべき方向性を共有した中で、議会意思により了承されたものと受け止めている。

質問項目



誠の会
中山 英子
なかやま えいこ



- 松本の水資源保全と活用状況について
- 花時計公園の今後について
- 「東アジア文化都市2026松本」の現状について

花時計公園の今後

Q

花時計公園で行った大型テント設置の実証実験では、さまざまなお望みが聞かれた。暑さが厳しくなる時期の大型テントの常設、電源容量やコンセントの増設などインフラ面の改善を含め、イベントによる賑わい創出と公園としての日常利用の両方を見据えた整備・運営について、どのように進めていくのか。

A

建設部長 都市公園法では、今回設置したものと同規模のテントであれば常設が可能である。大型テントの常設化を含めたインフラ整備については、現在取り組んでいる「えきまえエリアビジョン」の策定を踏まえ、電源容量やコンセントの増設、利用しやすい構造などについて、関係者の意見を聞きながら検討していく。また、公園で快適な日常を過ごしてもらうため設置した人工芝とベンチテーブルが好評であったため、このような整備も併せて検討していく。

※8 三の丸エリア 松本城の総堀に囲まれた城郭の一部

用語
解説

※9 えきまえエリアビジョン 松本駅周辺から松本城までの「えきしろ空間」の再活性化に向けた将来像を描くもので、令和7年度から8年度にかけて策定する

質問項目

- 救急医療について

誠の会
宇留賀
ひびき

**救急医療の現状と取組み****Q**

インフルエンザによる学級閉鎖が11月から急増し、年末年始に向けて感染症の流行等による医療体制のひつ迫に備える必要性を感じている。本市における初期救急医療体制を持続可能なものにするための取組みや周知啓発について伺う。

A

健康福祉部長 初期救急医療体制として、小児科・内科夜間急病センターや在宅当番医制を通じて、安心して医療を受けられる環境を整えているが、持続可能な診療体制の確立が課題となっている。医師不足等により小児科・内科夜間急病センターでは、令和7年4月から診療時間を短縮し、医師の高齢化や長時間労働が深刻な在宅当番医制についても、令和8年4月から時間短縮を予定している。また、急な病気などの際の電話相談窓口を市公式ホームページ等で紹介しているほか、冊子等で医療機関の適切な利用に係る啓発にも努めている。

質問項目

- 観光のプランディングについて
- 「防災道の駅」について

誠の会
土屋
眞一

**西部地域に「防災道の駅」を****Q**

中部縦貫自動車道が開通した場合、火山噴火や地震への備え、併せて地域経済の活性化を推進するためにも、農産物直売所を兼ね備えた「防災道の駅」が必要だと考えるが、梓川地区や波田地区周辺へ設置するについて市の見解は。

A

建設部長 中部縦貫自動車道は広域的な災害救護、救援物資輸送ルートとしての機能を有している。「防災道の駅」は広域防災拠点としての役割が大きく、既に岐阜県高山市、福井県大野市に設置されているが、本市へ設置することで、沿線自治体の総合支援拠点となり、広域防災体制が確立される。また、松本波田道路の整備に伴い経済効果も期待されるため、西部地域に地域活性化施設を兼ねた「防災道の駅」が必要だと考える。国が進める道の駅のまちぐるみによる整備に合わせ、周辺の土地利用計画等を踏まえ、検討を進めしていく。

質問項目

- 危機管理行政

誠の会
今井
ゆうすけ

**クマ対策と岳都松本のシンカ****Q**

クマの出没に対し、市町村の責任と権限が増す中、市長としてどのように判断し、責任を果たしていくのか。また、山とともに生きる都市として、クマ対策の強化を含め、岳都松本をどのようにシンカさせていくのか。

A

市長 改正鳥獣保護管理法の施行により、市町村長が発砲を判断する「緊急銃獣」が可能となつた。こうした事案が発生した場合には、警察・県・猟友会と連携し、クマによる人身被害を防ぐ責務を果たしていく。一方、過度な警戒が、登山観光や地域経済に悪影響を及ぼさないよう、山岳エリアでのイベント開催時には、登山者向けの安全講習会、市民向けには、クマの生態等を学ぶ機会を増やし、被害防止と経済活動の両立を図る。こうした取組みを通じ、「山や野生動物との付き合い方」を深めながら、森林再生とクマの適正な生息域確保に取り組み、住民生活圏との住み分けを実現したい。

質問項目

- 危機管理について
- 子育て支援について



誠の会
犬飼 信雄
のぶお



5歳児健診実施に対する市の考えは

質問項目

- 高齢になつても安心して暮らし続けたい
- 地域の博物館は私たちの宝物



日本共産党松本市議団
宗田 まゆ美
そうだ まゆみ



本市の介護保険サービスの現状

質問項目

- 高市政権について
- 国保税の引き上げに反対し、さらなる改善を
- 生業への支援
- 子育て支援
- フクマ対策



日本共産党松本市議団
犬飼 明美
いぬかい あけみ



Q 本市では、乳幼児健診や相談を実施しているが、5歳児健診は実施していない。これまで、支援が必要な子どもに対し、適切な支援を行ってきたことは承知しているが、今後の5歳児健診の実施に向けた考え方を伺う。

A

健康福祉部長 従来の集団健診の方式ではなく、現状を把握できていな、主に園に在籍していない5歳児に限定し、新たに来年度から健診や相談を実施する。併せて、家庭などで就学準備を進められるよう、子どもの発達や生活習慣等に関する情報提供等を、モデル的に実施する予定である。すべてのお子さんと保護者が安心して切れ目なく就学しながら、支援体制の強化に努めしていく。



現在、5歳児を含む保育園等に在籍する園児を対象に、専門職が園に出向き、お子さんの様子を見ながら、対応のアドバイスを行っている。

Q 介護事業所の閉鎖や休止が増加している現状と、減少している介護給付費の推移に対する分析、今後の対応について伺う。

A

健康福祉部長 介護事業所の閉鎖等の増加と介護給付費の減少は、介護人材不足による影響が大きいと考えている。加えて、物価高騰に伴う介護サービスの利用控えも懸念され、早急の対策が必要であると認識している。介護人材不足を大きな課題の一つと捉え、第9期介護保険事業計画では、人材確保と育成支援に努めている。具体的には、第1に、DX化支援、第2に、市内介護養成校や介護事業所との連携による、介護の魅力発信、第3に外国人材の活用支援に取り組んでいく。

Q 島内児童センターの過密化解消のため、学校の空き教室の利用や職員の確保に向けてどのような対策を検討しているか。

A

こども若者部長 昨年度、暑さでほとんどの利用できなかつた遊戯室にエアコンを設置したことで、時間帯や学年などを分けて運動遊びができるようになり、児童の分散化が図れるようになつた。学校施設の利用については、特に児童の多い夏休み中の利用を検討しているが、小学校と児童センターとが立地的に離れており、人員配置や運営面で課題があるため、現時点では対応が困難である。来年度の夏休みに向けては、児童センターとの往来が柔軟にできる。島内公民館の施設を借用できるよう調整を進めている。指定管理者とともに連携し、借用場所で支援を行うための職員の増員も含め、人員配置について検討を進めていく。

